

あいち次世代バッテリー推進コンソーシアム運営等業務仕様書

1 業務名

あいち次世代バッテリー推進コンソーシアム運営等業務

2 目的

本県産業を支える自動車産業は、カーボンニュートラル実現に向け、電動化というパラダイムシフトを迎えており、その中でバッテリーは最重要技術の一つである。本県にはEV・産業用バッテリーを必要とする企業や、セラミックス等の電池材料を扱う企業が集積する等、この先端成長分野へのポテンシャルは非常に高い。

2024年度までに実施した「愛知県次世代バッテリーに関する研究会」の意見をふまえ、「研究・実証」、「人材育成」、「製造拠点等集積化」の分野で具体的な取組を推進するべく、「あいち次世代バッテリー推進コンソーシアム（以下「コンソーシアム」という。）」を設立した。

本業務では、セラミックス等の地域の強みを生かした活発な研究・技術開発により、電池イノベーションの創出を図るため、コンソーシアムの運営を行い、産学行政によるネットワークづくりを推進する。

3 契約期間

契約日から2026年3月31日（火）まで

4 業務

コンソーシアムの運営に係る次の業務を実施する。

- (1) コンソーシアムの会議等運営
- (2) 普及啓発
- (3) 新規参入促進に係るセミナー等開催
- (4) 共同研究支援

5 業務内容

コンソーシアムの設立目的を達成するため、次に掲載する内容の業務を実施する。

業務の実施に当たっては、各業務を相互に連携させ、効果的な運用に努めること。

(1) コンソーシアムの会議等運営

ア 総会の開催

コンソーシアムの取組で会員の関心が高いテーマに関する協議及び会員間の交流機会創出等を目的に、コンソーシアムの総会、基調講演及び会員交流会（ポスター展示併催）を開催する（知事出席予定）。

○時期：2025年6月

○場所：名古屋市内の会場（STATION Ai 等）及びオンライン配信

○定員：会場 100 名程度、オンライン 200 名程度

(ア) 企画

総会のプログラムを県と協議の上、決定する。プログラムの中には、県の事業計画の説明とともに、会員同士あるいは会員と県が協議できる場を設けること。

最新の事例、業界の動向などを踏まえ、基調講演テーマとその講師候補者、ポスター展示の実施方法を立案し、県と協議の上、決定する。

(イ) 会場等手配

総会の開催に必要な会場及び備品を手配する。会員交流会は、軽食と飲み物を用意した上で、交流会参加者から、交流会参加費を徴収し、本業務の運営に充てることができる。会員からの情報発信の場として、パーティション等ポスターセッションに必要な備品を手配する。

(ウ) 運営

参加者募集、会場設営、受付、記録写真の撮影、進行、マイクラン、資料作成、議事録作成等総会の円滑な運営に必要な業務を県と調整の上、実施すること。

○ 運営マニュアル（スケジュール、レイアウト等）を作成し、県と調整の上、運営に必要な事務業務の支援を行う。

○ オンライン配信においては、発表スライドの投影、司会者及び講演者の様子を投影すること。

○ 記録写真は、デジタルカメラやスマートフォンによる撮影を想定している。

(エ) その他

○手配した会場、備品、講師謝金、旅費等の支払いを受託者において実施する。

○参加者を対象とするアンケートの実施を支援する（項目のアドバイス等）。

イ アドバイザリーボードの開催

コンソーシアムの取組全体の方向性等について議論するため、次世代バッテリーをけん引する有識者（アドバイザリーボード委員 15 名）をメンバーとしたアドバイザリーボードを、3 回程度開催する。

○時期（予定）：2025 年 5 月、9 月、2026 年 1 月

○場所：名古屋市内の会場（オンライン併用）

○参加者：委員、オブザーバー、事務局 等

(ア) 企画

ワーキンググループの活動やウェブサイトなど、「5 業務内容」中の（1）ウ、（2）、（3）、（4）の事業の問題点を明らかにし、これを解決するためのアドバイス等を委員からもらうため、議題の立案を県と調整の上、行う。

(イ) 会場等手配

アドバイザリーボードの開催に必要な会場及び備品を手配する。

(ウ) 運営

出欠確認、会場設営、記録写真の撮影、進行、会議用資料作成、議事録作成等ア

ドバイザリーボードの円滑な運営に必要な業務に係る支援をすること。

(エ) その他

手配した会場、備品、委員謝金、旅費等の支払いを受託者において実施する。

※委員の旅費及び謝金の目安（1回あたり）：委員全員が対面参加の場合 356,160 円

ウ ワーキンググループ（WG）の設置・開催・運営

次世代バッテリーの研究・技術開発促進に向けて協議すべきテーマについて、会員を中心にメンバーを選定しWGを組成する。WGでテーマ内容をブラッシュアップし、具体的プロジェクトへつなげることを目的とする。

(ア) WG設置

WGを組成すべき「テーマ」について、会員から公募又はアドバイザリーボードの意見を基に、県と調整の上選定する（3テーマ程度）。選定したテーマについて、チームメンバー集めを支援し、WGを組成する。テーマ提案者又はチームメンバーから各テーマWGのリーダーを選出する。

(イ) WG開催

組成されたWGにおいて、リーダーの主導により、WGを開催する。3テーマ、各3回程度開催する。WGの目的、目標（年度内、最終）、WGの実施内容（調査検討、企画立案、実行）等について、リーダーの支援を行う。

(ウ) WGの運営

日程調整・案内、会場・備品の確保、実施内容の調整、資料配布、会議の議論を円滑にするためのファシリテーション、議事録作成等効果的なWGの運営ができるよう、県と調整の上必要な支援を行う（対面、オンライン開催、対面とオンラインのハイブリッド開催のいずれの場合であっても対応すること）。

(エ) その他

手配した会場・備品等の支払いを受託者において実施する。

(2) 普及啓発

ア ウェブサイト開設・運営

コンソーシアム公式ウェブサイトを開設し、会員企業の電池に関する研究開発成果や技術シーズ、人材育成のベストプラクティス等を発信する。

(ア) ウェブサイトの企画・製作

以下の内容を情報発信するホームページを企画・製作する。県と、サイトマップ及びワイヤーフレームについて協議したのち、ウェブサイトデザインする。

サイトの作成は、別添「委託事業 Web ページ作成及びサーバ構築時の注意点」を考慮して作成すること。

【内容】

○新着情報

○会員のプレス情報

○コンソーシアム概要（設立趣旨、重点分野、組織体制、事務局、設立日、活動内

容)

- ワーキンググループ（設立趣旨、メンバー、設置日、主な活動）
- 会員募集（対象者、会費、入会方法）
- 会員一覧（会員名簿）
- 取組内容（研究実証、人材育成、拠点集積、総会、セミナー）
- 会員の研究開発成果、技術シーズ、共同研究先募集
- 会員の人材育成ベストプラクティス

(イ) CMSの導入・構築

専門的な I C T の知識を必要とせず、愛知県職員が簡単な操作により情報を発信・更新できる汎用性の高い CMS を導入する。

(ウ) ウェブサイトの公開

県が指定した日時にウェブサイトを開く。

サーバーは受託者にて用意し、ドメインについては、愛知県公式 Web サイトのサブドメイン「〇〇〇.pref.aichi.jp」を使用すること。

(エ) 公開後の保守管理・更新

契約期間中は受託者においてウェブサイトの保守管理を行う。不具合等が生じた際は、速やかに県に報告を行い、原因を究明する。また、その修正・復旧の対応を迅速に行うこと。公開後のデザイン等の修正にも、可能な限り対応する。

新着情報（随時）、会員のプレス情報（週 1～2 回程度）、会員一覧（会員名簿）（月 1 回程度）等の Web ページの更新を県が実施するにあたり、必要な支援をすること。

また、契約期間満了等により受託者が変更となる場合は、次の受託者が円滑にウェブサイトの保守管理・更新を行うために必要な引継ぎを行うこと。

(オ) 基本操作マニュアルの作成

ウェブサイトの基本情報や CMS の使用方法等をまとめた基本操作マニュアルを作成する。

(カ) スケジュール（予定）

以下のスケジュールを目途にウェブサイトを作成する。

2025 年 4 月：契約締結

2025 年 5 月：サイトマップ及びワイヤーフレーム決定

2025 年 6 月：ウェブサイトデザイン決定

2025 年 7 月：コーディング

2025 年 8 月：公開（予定）

公開～2026 年 3 月 31 日まで：保守管理、更新

イ 電池討論会出展等支援

内外にコンソーシアムの取組、本県電池関連企業の取組を発信するため、電池討

論会への展示出展及び会員の電池討論会への参加支援を行う。4小間出展し、コンソーシアムの取組と会員8団体程度の取組を紹介する。

【電池討論会概要】

○第66回電池討論会

日程：2025年11月18日（火）～20日（木）

会場：ウインクあいち

（ア）展示ブースの設置

○企画設計

「あいち次世代バッテリー推進コンソーシアム」としての一体的な出展であることが分かるように全体の企画設計を行う。

○出展者の募集

会員から出展者を募集する。募集手順については、公平性を確保して行う。

※ 県と調整の上、他の展示会・セミナー等と合わせて募集を行っても良い。

○展示物の製作

展示ブースに展示するポスター、パネルなど、各出展者が企画した展示物を製作する（コンソーシアムの取組紹介、出展企業の取組・技術の紹介）。必要に応じて、追加電源やブース内に設置する備品等を準備し、他のブースに埋もれないような工夫を行う。展示物の製作に当たっては、電池討論会の出展規定を遵守する。

○設営

展示ブース利用計画・図面、レイアウト等の計画に従い、展示物や備品の設置など、出展に必要な業務及びそれに付随する業務を行う。

設営にあたっては、電池討論会主催者が定める規則等を遵守すること。

○コーディネート業務

出展企業の事業内容、出展物等を正しく理解し、出展企業の強みを生かした展示会の出展となるよう、出展企業に対し事前に個別の相談等を行う。

（イ）出展ブースに係る運営管理

○連絡調整

出展企業説明会若しくは個別説明を実施し、出展企業に対し展示会の概要、出展に係る規定、ブースのレイアウト等について説明する。

出展（搬入・搬出含む）が円滑に行えるよう、電池討論会主催者等関係機関、出展企業、県等との連絡・調整業務を密に行う。

○管理

展示の説明は各出展企業及び県が行うが、出展ブース全体を管理する責任者を定め、準備（搬入）、開催期間、搬出終了まで、県及び出展企業、展示会主催者と常に連絡が取れるようにする（展示ブースに責任者が常駐する必要はない）。

展示ブースにおける出展企業や来場者に対する安全に配慮するとともに、電池討論会主催者が定める規則等を遵守し、出展企業にも徹底する。

○撤去

展示終了後は、適切に出展物等の撤去を行う。撤去に当たり、スタッフの配置をするなど、必要な安全対策を行うとともに、電池討論会主催者が定める規則等を遵守する。ゴミ処理等、ブース内などの清掃業務を行う。

(ウ) その他

出展展示に係る経費の支払い並びに会場使用料及びコンソーシアム会員の参加費の一部の支払いを受託者において実施する。出展者賠償責任保険料、情報掲載料等については、必要に応じて負担する。

○会場使用料負担の目安：2,656,650 円（最大）

○参加費支援の目安：10,000 円×20 団体＝200,000 円

ウ BATTERY JAPAN 二次電池展出展支援

内外にコンソーシアムの取組、本県電池関連企業の取組を発信するため、BATTERY JAPAN 二次電池展（関西展・春展）への出展を行う。各展示会 1 小間出展し、コンソーシアムの取組と会員 2 団体程度の取組を紹介する。

【展示会概要】

○BATTERY JAPAN 二次電池展（関西展）

日程：2025 年 11 月 19 日（水）～21 日（金）

会場：インテックス大阪

○BATTERY JAPAN 二次電池展（春展）

日程：例年 2 月頃（未定）

会場：例年東京ビッグサイト（未定）

(ア) 展示ブースの設置

○企画設計

「あいち次世代バッテリー推進コンソーシアム」としての一体的な出展であることが分かるようにするとともに、出展者及び来場者の立場を考慮した集客力を見込めるような全体の企画設計を行う。

○装飾

展示ブースの装飾は、出展展示会の装飾規定を遵守する。

装飾規定の範囲でスポットライト等により十分な明るさを確保し、他のブースに埋もれないような工夫を行う。

統一的な装飾（基礎装飾）として、統一感を持たせた全体の造作、パンチカーペット（カーペット留めを含む）、社名版、展示台（机、白布等）、システムパネル、スポットライト、コンセント等を必要に応じて備える。

○レイアウト

展示ブース全体の動線を考慮し、来場者の動線、視認性を考慮した集客力の高いレイアウトとする。

出展企業の展示に重きを置くレイアウトにする。なお、展示スペースは公平

性に留意し、立ち寄りやすく、商談しやすい配置とする。

○設営

展示ブース利用計画・図面、レイアウト等の計画に従い、展示物や機材・工作物の設置、電気工事など、出展に必要な業務及びそれに付随する業務を行う。

設営にあたっては、展示会主催者が定める規則等を遵守すること。

(イ) 出展に係る PR 支援

○リーフレット作成

出展ブース等で配布するために、出展企業を紹介するリーフレット（A 4 両面、カラー）のデザインを企画する。

リーフレットの作成にあたり、効果的に P R できるよう、事前に出展企業と調整する。

デザインしたリーフレット 500 枚を展示会の開催 1 か月前までに県へ納品する。

○ポスター作成

出展ブースに掲示するため、出展企業、展示物等の概要を紹介する展示ポスター（A 1、カラー、2 種類）のデザインを企画する。

展示ポスターの作成にあたり、効果的に P R できるよう、事前に出展企業と調整する。

○コーディネート業務

出展企業の事業内容、出展物等を正しく理解し、出展企業の強みを生かした展示会の出展となるよう、出展企業に対し事前に個別の相談等を行う。

(ウ) 出展ブースに係る運営管理

○連絡調整

出展企業説明会若しくは個別説明を実施し、出展企業に対し展示会の概要、出展に係る規定、ブースのレイアウト等について説明する。

出展（搬入・搬出含む）が円滑に行えるよう、展示会主催者等関係機関、出展企業、県等との連絡・調整業務を密に行う。

○管理

展示の説明は各出展企業及び県が行うが、出展ブース全体を管理する責任者を定め、準備（搬入）、開催期間、搬出終了まで、県及び出展企業、展示会主催者と常に連絡が取れるようにする（展示ブースに責任者が常駐する必要はない）。

展示ブースにおける出展企業や来場者に対する安全に配慮するとともに、展示会主催者が定める規則等を遵守し、出展企業にも徹底する。

○撤去

展示終了後は、適切に出展物等の撤去を行う。撤去に当たり、スタッフの配置をするなど、必要な安全対策を行うとともに、展示会主催者が定める規則等を遵守する。ゴミ処理等、ブース内などの清掃業務を行う。

○出展負担金徴収

出展企業は出展負担金を支払うこととする。1 企業あたり 100,000 円程度を基準とし、出展企業間の公平性が保たれるように出展負担金を設定する。

出展企業から出展負担金を徴収し、出展負担金を本委託事業に必要な経費に充当することができる。

○各種手続き

展示会主催者への出展小間料の支払い等、経費の支払いを行う。出展者賠償責任保険料、情報掲載料等については、必要に応じて負担する。

(3) 新規参入促進に係るセミナー等開催

企業等のバッテリー分野への新規参入、共同研究開発の促進のため、セミナーやマッチング交流会等を開催する。

ア セミナー及びマッチング交流会の開催

会員の研究開発・新規参入等のヒントとなる情報提供を目的とし、県内外の先進研究開発状況や業界動向等を発信するセミナーを開催する。また、企業同士、または研究機関対企業の共同研究の促進のためのマッチングを目的とし、会員からの情報発信（技術、製品、導入事例）の場を創出するマッチング交流会を開催する。セミナー及びマッチング交流会を3回以上開催する。セミナー及びマッチング交流会の同日開催も認める。（3回のうち1回は（公財）科学技術交流財団との共催を考えているので、開催に当たっては県と協議すること。）

○時期（想定）：2025年9月、12月、2月 等

○場所（想定）：愛知県内の会場（STATION Ai、知の拠点あいち 等）及びオンライン配信

○定員（想定）：会場100名程度、オンライン200名程度

(ア) 企画

最新の事例、業界の動向などを踏まえ、コンソーシアムのセミナーにふさわしいテーマとその講師候補者を立案し、県と協議の上、決定する。研究開発の動向等を踏まえ、マッチング交流会のテーマとマッチング交流会の方法を立案し、県と協議の上、決定する。

(イ) 会場等手配

セミナー及びマッチング交流会開催に必要な会場及び備品を手配する。マッチング交流会においては、会員からの情報発信の場を設ける回においては、パーティション等、ポスターセッションに必要な備品を手配する。マッチング交流会では軽食と飲み物を用意し、交流の活性化を図る。マッチング交流会参加者からは、参加費を徴収し、本業務の運営に充てることができる。

(ウ) 運営

参加者募集、会場設営、受付、オンライン配信、記録写真の撮影、進行、マイクラン、資料作成等セミナーの円滑な運営に必要な業務を県と調整の上、実施すること。

- 運営マニュアル（スケジュール、レイアウト等）を作成し、県と調整の上、運営に必要な事務業務の支援を行う。
 - オンライン配信においては、発表スライドの投影、司会者及び講演者の様子を投影すること。
 - 記録写真は、デジタルカメラやスマートフォンによる撮影を想定している。
- (エ) その他
- 手配した会場、備品、オンライン配信費、講師謝金、旅費等の支払いを受託者において実施する。
 - 参加者へのアンケート実施に係る支援（項目のアドバイス等）を行う。

イ AXIA EXPO でのセミナーの開催及び出展

- AXIA EXPO にて、会員と AXIA EXPO 来場者向けのセミナーを開催する。
 - ・日時（予定）：2025 年 6 月 5 日（木）13 時 30 分～15 時 10 分
 - ・会場：Aichi Sky Expo（愛知県国際展示場）及びオンライン
 - ・定員：会場 100 名、オンライン 200 名程度
- AXIA EXPO にて、内外にコンソーシアムの取組、本県電池関連企業の取組を発信するため、ポスター展示の出展を行う。
 - ・日時（予定）：2025 年 6 月 5 日（木）
 - ・会場：Aichi Sky Expo（愛知県国際展示場）
 - ・出展数：コンソーシアムの取組 1 小間、会員企業の取組 20 小間程度（要調整）

(ア) セミナー

a 運営

参加者募集（会員向け）、AXIA EXPO 事務局との調整、記録写真の撮影、オンライン配信、講師の選定・調整、資料作成等セミナーの円滑な運営に必要な業務について、県の支援をすること。

- オンライン配信においては、発表スライドの投影、司会者及び講演者の様子を投影すること。
- 記録写真は、デジタルカメラやスマートフォンによる撮影を想定している。

b その他

- ・オンライン配信費、講師謝金、旅費等の支払いを受託者において実施する。
- ※ 会場使用料は負担なし
- ・参加者を対象とするアンケートの実施を支援する（項目のアドバイス等）。

(イ) 展示

a 展示ブースの設置

○企画設計

「あいち次世代バッテリー推進コンソーシアム」としての一体的な出展であることが分かるように全体の企画設計に係る支援をすること。

○運営

展示ブース利用計画・図面、レイアウト等の計画に従い、展示物や備品の設置など、出展に必要な業務及びそれに付随する業務について、県の支援をすること。

b その他

- ・出展企業を対象とするアンケートの実施を支援する（項目のアドバイス等）。

ウ 会員企業等見学会の開催

会員の電池に関する研究開発、製造等を共有する企業見学会を開催する。

○時期（想定）：2025 年 10 月

○場所（想定）：会員企業

○定員（想定）：40 名程度

(ア) 企画

会員の研究開発動向、製造状況を踏まえ、動向最新の事例、業界の動向などを踏まえ、見学先の選定に係る支援をすること。

(イ) 交通手段手配

見学会のため、バス又は最寄り駅からの交通手段等を手配する。

(ウ) 運営

参加者募集、会場設営、受付、記録写真の撮影、進行、資料作成等見学会の円滑な運営に必要な業務の実施にあたり、県の支援をすること。

(エ) その他

○手配した交通支援、見学先への謝金等の支払いを受託者において実施する。

○参加企業、受入企業を対象とするアンケートの実施を支援する（項目のアドバイス等）。

エ BASC Battery College の開催

（一社）電池サプライチェーン協議会（BASC）と調整し、電池産業への新規参入を検討している企業を対象に、最新ビジネス動向、電池設備ニーズ等について、セミナーを開催する。

○時期（想定）：2025 年 7 月中旬（予定）

○場所（想定）：愛知県内の会場（ウインクあいち等）

○定員（想定）：40 名程度

(ア) 運営

参加者募集（会員及び一般）を行う。県が（一社）電池サプライチェーン協議会（BASC）と協議の上決定した、日時、場所で開催する。参加する会員の参加料の一部を県が支援するが、支援の方法・金額等については県及びBASCが協議の上決定した参加費支援の取扱いに従い、主催者のBASCに支払いを行う。

○参加費支援の目安：25,000 円×20 社＝500,000 円

(イ) その他

- 県が予約した会場使用料・備品利用料等の支払いを受託者において実施する。
- 会場・備品使用料負担の目安：106,640 円（会場として 60 名程度、講師控室として 20 名程度を収容できるサイズを 1 部屋ずつ、プロジェクター・スクリーン、マイク 2 本以上、wifi 環境、ホワイトボード、演台、電源タップ等）
- ・参加者を対象とするアンケートの実施を支援する（項目のアドバイス等）。

オ xEV テスティング・イニシアティブの開催

「xEV テスティング技術を考えるステアリングコミッティ」と調整し、電動車のテスト技術の現状等に関するセミナーを誘致・開催する。

- 時期（想定）：2025 年 11 月 26 日（水）～28 日（金）のうち連続する 2 日間
- 場所（想定）：名古屋市内の会場（ウインクあいち 等）
- 定員（想定）：160 名程度

(ア) 会場等手配

セミナー開催に必要な会場及び備品を県と調整の上手配する。

(イ) 運営支援

コンソーシアム会員への周知、県が実施する基調講演資料の作成支援を行う。

(ウ) その他

- 県が予約した会場利用料・備品資料寮等の支払いを受託者において実施する。
- 会場使用料負担の目安：182,220 円（ウインクあいち小ホール相当のサイズ）
- 参加者を対象とするアンケートの実施を支援する（項目のアドバイス等）。

(4) 共同研究支援

電池に係る企業同士、大学と企業の共同研究の活性化を図るため、産学共同研究開発チーム組成に向けたコーディネートや共同研究につながる試作品製作に係る支援を行う。なお、ワーキンググループの運営やマッチング交流会の開催と連携した取組を行うこと。

ア 産学共同研究開発チーム組成に向けたコーディネート

(ア) 技術やアイデアの提案募集・調査

会員を対象に、電池に係る共同研究につながる技術やアイデアを募集・調査する。募集・調査に当たっては、公募案内をコンソーシアム公式 Web ページへ掲載、個別アプローチの実施など、効果的な募集・調査を行う。

(イ) 産学共同研究開発チームの組成

募集・調査した提案をとりまとめ、関連する情報の収集を行い、県と調整の上で、必要に応じて関係者へのヒアリング等を実施する。これらの情報を総合的に検討し、会員企業等によるチームを組成する。

※ 状況によっては、組成されたチームが 5（1）ウのワーキンググループとなることも可とする。

チーム組成数：3 件（予定）

イ 共同研究及び競争的資金獲得につながる試作品作成等に係る支援

産学共同研究開発チーム組成及び国や県の競争的資金獲得を後押しするため、試作品製作に係る支援（500 千円×10 件程度）を行う。

支援要件や審査基準、審査方法、実績報告等を定める実施要綱を県が作成するのを支援する。試作品製作支援は、この要綱に従って受託者が行う。

6 成果物

- ・業務実施報告書（A4 判縦） 2 部
- ・上記の電子データ 1 式
- ・その他、本県が指示したもの

※ 電子データは県が指定する形式で作成すること。

7 納品場所

愛知県経済産業局産業部産業科学技術科及び県が指定する場所

8 その他

- （1）県と十分協議のうえ本業務を実施すること。
- （2）本業務の開始から終了までの間、業務内容全般を常に把握している統括責任者を置き、業務実施内容や進捗状況の確認等、業務の円滑な実施のために、定期的に県と連絡調整を行うこと。その他、業務を円滑・適正に運営するための組織体制、人員配置を行うこと。
- （3）委託業務の経理を明確にするため、受託事業者は他の経理と明確に区分して会計処理を行うこと。
- （4）本業務に係る会計実地検査等が行われる場合は、協力すること。
- （5）受託事業者は、事業完了後 5 年間、本委託業務に係る会計帳簿及び証拠書類を県の求めに応じていつでも閲覧に供することができるよう保存しておかなければならない。
- （6）本事業は、新しい地方経済・生活環境創生交付金（第 2 世代交付金）（予定）を活用して実施するため、同交付金の交付要綱等に基づき適正に処理すること。
- （7）成果物については、第三者の著作権等の権利を侵害していないことを保証すること。
- （8）本業務の遂行にあたり知り得た情報を、県の許可なく他に漏らしてはならない。契約終了後も同様とする。
- （9）個人情報等の保護すべき情報を取り扱う場合は、その取扱いに万全の対策を講じること。
- （10）本業務の実施に当たり、問題等が発生した時は、県に遅滞なく報告するとともに、誠実な対応を行うこと。

- (11) その他、本仕様書に定めのない事項は、県及び受託事業者の協議により定めるものとする。